

判らないことは牛に聞け

今の酪農業界すべての事が解明されている訳でもない。当然の事であるが、判らない事が多いのが現状である。その判らない時には、本での検索、人に聞く事、更に自分の牛に聞いてみてはどうだろうか。牛が発する言葉を如何に読み取るかが重要と考える。牛は実際には言葉を発しないが、態度でそれを示そうとする。その態度行動を読み取る。そして牛は決して嘘はつかないと思っている。

日々牛を観察しながら、その動きに表れる言葉を如何にして読み取るかである。その言葉が理解できれば、内容を改善する事により乳牛の成績は伸びる。いわゆるカウコンフォートであるが、人が頭で考えることとは別な事もある。

牛は放牧していればストレスが少ないと考える人が多い。これは本当であろうか？夏の暑い中での放牧はヒートストレスを受けるだけである。牛舎を開放し、いつでも牛が牛舎に戻れるようにしていると、牛はひとしきり採食した後に牛舎内で過ごす。本当に熱い日には、扇風機のある牛舎から出ては行かない。ましてアブなど吸血昆虫が多い時には、放牧を避ける傾向がある。雨の日にも放牧を嫌う。牛は濡れたくはないようである。濡れば、自分の体温でそれを乾かさなければいけない。栄養のロスを招く事を知っているのである。

牛に聞いて見たい事。

ストールにお腹半分だけ入れて、ストールの角に乳房の位置を保ってきて寝る牛。そんな角がお腹に当たっていれば痛いと思うのであるが、その牛はいつもそのような寝方をするそうである。何が気持ちよいのか、聞いてみたい。

どうしても通路に寝る牛。何が不満でストールに寝ないのか？ストールの設計が悪いのか？それとも目の前の相手がどうしても気に入らず、避けたいのか？

選び食いが上手と言わせるくせに、何故釘は選び食いできずに、創傷性心囊炎を発症するのか？小さな穀類を選び食いするのに、小さな異物は吐き出せないのか？



そんな所で寝たら乳房炎になるだろうと言いたいが、牛は暑さを避けるために冷たい通路の上がよいのである。まるで子供の泥遊びであるが、牛の選択権にはかなわない。もっと牛にとって快適な環境を作り出さねばいけない。